

学校便り



校長 尼子 創一



令和7年 今年もよろしくお願ひいたします

校長 尼子 創一

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。今年の干支は巳年（へび年）です。蛇というと「蛇足」「やぶへび」等のようにあまり良い意味でないたとえに使われることが多いですが、反対に、そうした特性や強い生命力から「神の使い」として信仰の対象とされることもあります。有名なものには、ギリシャ神話に登場する医神アスクレピオスが持つ杖「アスクレピオスの杖」があります。この杖は世界保健機構(WHO)の旗章にあるように、世界的に医学・医療の象徴として用いられています。また、救急車の車体に描かれている「スターオブライフ」にもその意味が込められています。



生徒や御家族の皆様、地域の皆様が、この一年健康で、幸せをたくさん感じられるよう、教職員一同努めてまいります。

<多様な障害特性のある生徒の教育的ニーズに応えられる特別支援学校づくりを目指す>

～ 外部専門家による校内研修で、教員の専門性を高め、一人一人のニーズに応えていく ～

教職員の仕事初めである6日に、本校外部専門家（公認心理師）の、綿貫愛子先生に講師をお願いし、研修会を行いました。綿貫先生には、指導困難生徒の授業観察や面談をしていただき、教員への指導・助言をお願いしています。研修会では、「はじめての（特別支援学校）押さえておきたい！基礎基本」というテーマで御講義をいただきました。教員の特別支援教育についての専門性を高めるための研修です。

特別支援教育は、平成18年、それまでの特殊教育の理念であった「場に応じた教育」（障害の種類や程度に応じて教育の場を用意する）から、個々の「教育的ニーズに応じた教育」（一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めていく）への転換が図られました。

本校生徒は、現在195名です。障害診断名が同じ生徒は、多数おりますが、それぞれ障害特性が異なり、多様な実態の生徒たちです。生徒一人一人が異なるということは、教育的なニーズが一人一人異なるということです。本校では、教員がそのニーズについて、研修会で学んだアセスメントや、近年明らかになってきた自閉症や発達障害の認知特性に関する知見に基づき、個別指導計画を作成し、学習指導に活用しています。先日の研修会では、綿貫先生から「板橋特別支援学校では、生徒にとって分かりやすい教室環境や授業づくりが進んでいると感じています」とお褒めのお言葉をいただきました。

生活指導や進路指導などに関するニーズについては、関係機関（児童相談所、相談支援事業所、病院、等）と連携しながら、外部専門家の先生にも御助言をいただき学校生活支援シートを作成し、個別の対応を進めています。

本校生徒の実態や授業の状況を、よく知っていただいている外部専門家の先生方からの指導・助言により、本校教員の専門性向上に努めています。

☆本校の教育活動は、SNS「X（旧Twitter）」で紹介しています。コチラから→



1月の行事予定

*学校便りは本校ホームページにアップしています。

S B : スクールバス

日	曜	行 事	S B	日	曜	行 事	S B
1	水	元日		17	金		15:30
2	木	休日		18	土		
3	金	休日		19	日		
4	土			20	月		15:30
5	日			21	火		15:30
6	月			22	水	2年修学旅行始(兵庫)	15:30
7	火			23	木		15:30
8	水	【短縮13:25下校】 始業式 短縮 給食始 SB指導/登下校指導①	<u>13:30</u>	24	金	2年修学旅行終(兵庫)	15:30
9	木	1年生就業体験始 2、3年現場実習始 登下校指導②	15:30	25	土	20歳を祝う会	
10	金	スクールバス連絡会 (9:00) 1年身体測定	15:30	26	日		
11	土			27	月		15:30
12	日			28	火	精神科相談 避難訓練(地震・火災)	15:30
13	月	成人の日		29	水	1年主権者教育【総合】 (13:00-14:45)	15:30
14	火	月曜日時程 2年修学旅行前検診 (13:30)	15:30	30	木		15:30
15	水	安全指導 3年身体測定	15:30	31	金	漢字検定	15:30
16	木	2年身体測定	15:30				